授業科目 ____フィジカルアセスメント

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	看護
本間 千代子 他	開講時期	前期・後期	必修選択	必修
本间 1101 個	単位数	2	時間数	60

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
0	0	0	0	0

【概要·一般目標:GIO】

看護に必要な情報を収集するための身体面、心理的面、社会背景の観察技術とメカニズムを理解し人間の日常生活や健康状態を評価 するまでの過程を習得する。

【学習目標・行動目標: SB0】

- 1. バイタルサインの測定ができる。
- 2. 看護面接の基本情報の聞き取りができる。
- 3. 頭部・眼・脳神経の基本的観察と情報収集ができる。
- 4. 胸部・呼吸器系の観察と情報収集ができる。
- 5. 腹部の観察と情報収集ができる。
- 6. 骨筋系・知覚の観察と情報収集ができる。

<u> </u>									
回 数		授業計画・学習の主題		SB0 番号		・学習課題 担当教員			
1-30	3~4週間を	1ユニットとする。			PBL テュートリアル方式				
	前期3ユニッ	ユニット 後期 2 ユニット。			オリエンテーション				
		習とグループによる学習、週1回テュータがついた授業を行 らユニットの課題を前期・後期5ユニットで実施する。			学生個人による自己学習				
					学生グループによる自己学習				
i					ー テュータ(教員)が技術	のモデルを示す			
PBL テュートリアル、オリエンテーションを受け、学習方法、学習 計画、運営の仕方を理解し実施していけるようにする。					技術演習				
					ビデオによる事前の自己	2学習			
					学生個人によるグループ	プへのプレゼンテーション			
	ユニット課題								
	1. 腹部								
	2. 脳骨筋知覚				基礎看護学担当教員が中心にて行う				
	3. 医療面接								
	4. 呼吸								
	5. 循環								
	上記5つの課題	題を実施し観察、情報の収集、							
	自ら調べそれをメンバーに発表し理解してもらう、またメンバーの 調べたものを理解する。共有することで対人関係をきずきながら学 習を効果的に進めていく。								
Ţ.	使用図書】	<書名>	<著者名>		<発行所>	<発行年・価格 他>			
教科書 (必ず購入する書籍)			Gakken	2002・3,900円					
参考書		入門人体解剖学	藤田恒夫		南江堂	2005・5,000円			
		シンプル生理学	藤田恒夫、貴邑富久子		南江堂	2010・2,900 円+税			
		フィジカル・アセスメント	小野田千枝子、高橋照-	子、芳	賀佐和子 金原出版	2005・3,800円			
そ	その他の資料								

【評価方法】

学習態度評価 (学習態度自己評価出欠席も加味する)50% 知識テスト (後期)30%

技術テスト(前期・後期)20%

終了時のまとめファイルとポートフォリオシートも含む

【履修上の留意点】

| 主体的に調べ学ぶ学習です。小グループ学習のため積極的態度と出席 | は必須です。

メンバーの一員として力を発揮してください。